

3月も中旬になると西の方から桜の開花情報が入って来るようになりますが、まだまだ寒い日が続くそうなので、風邪などを引かないように御自愛を。

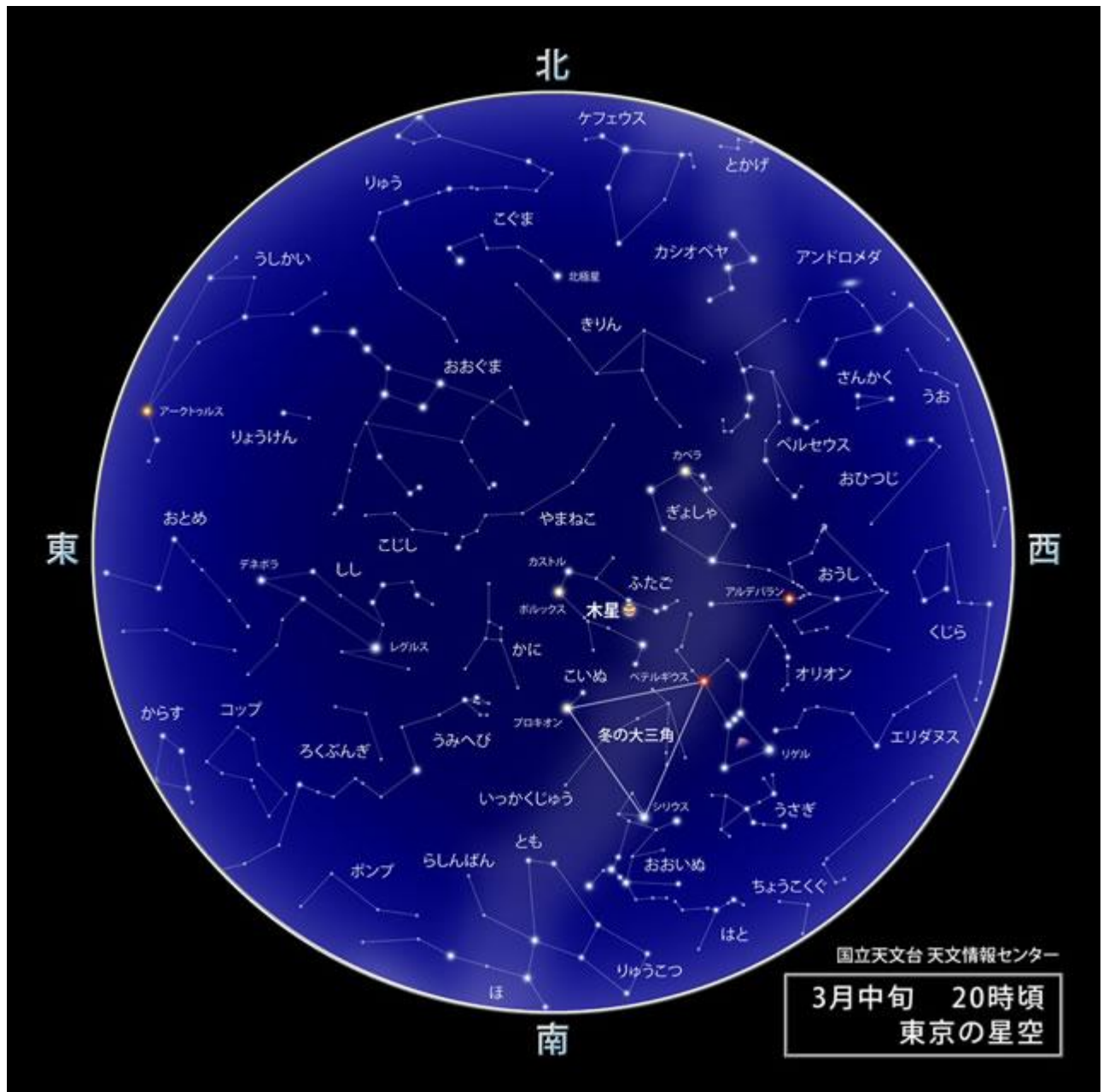
(因みに今年の関東地方は3月末頃に開花し入学式の頃まで楽しめそうです、桜情報、花粉情報、その他天気予報等にはウェザーニュースのサイトが無料で有益な情報が取得可能ですよ。)

夜8時頃の空を見てみると南西の空にはこいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウス、オリオン座のベテルギウスの明るい星々が冬の大三角を形成していますが月末頃まではその上に明るく輝いている木星も含めて見事な大十字(クロス)が見られますのでぜひ気が付いたら見てください。

又、時期が良いので木星を少し見てみましょうか、太陽系の中では最大の惑星、大きさは地球の10倍以上、質量は300倍以上もある巨大惑星です、また、木星の衛星(月)は確定されているだけでも50個はあるそうです。

そのうち4個はガリレオ・ガリレイが初めて天体望遠鏡を向けた時に発見したものです、それを観測した結果「地動説」を確信したそうです。

それが大きい方からガニメデ、カリスト、イオ、エウロパの4大衛星です、地球の月と同じかそれ以上の大きさを有しています、今木星に倍率が7倍以上の双眼鏡を向けてみると毎日衛星の位置が変わっている様子が観察出来るはずです。



また 9 時過ぎになると火星が東の空から上がってきます、近くにあるおとめ座のスピカが青白い色をしているので赤色の火星との色の対比が面白いです、そして 10 時過ぎ頃に上がって来る土星を機会があったら天体望遠鏡で覗いてみてください。

(あの有名な環 (リング) が見れます。)

\*木星は夕方から観望の好機です、火星と土星は少し遅い時間に昇って来ますが機会があったら望遠鏡で覗いてみてください、恒星とは違いある程度の大きさが確認でき、惑星表面の様子が見えたり、惑星を取り巻いている異様な形をしている環 (リング) が見えたり、また、あまり大きくは見えないが燃えるような赤色をしている惑星、其々大きさ、形状等は違いますがどれも、太陽の周りを回っている我々地球の仲間、一度はその姿をこの目で観てみたいものですね。